



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年2月8日
東証グロース市場

上場会社名 ユナイテッド株式会社 上場取引所
コード番号 2497 URL <https://united.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)早川 与規
問合せ先責任者 (役職名)取締役 経営管理本部長 (氏名)山下 優司 (TEL)03(6821)0000
四半期報告書提出予定日 2024年2月8日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	10,786	6.0	4,963	0.6	4,972	0.5	2,675	△25.5
2023年3月期第3四半期	10,175	△5.7	4,933	△12.1	4,948	△11.9	3,591	△7.3

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 △1,558百万円 (—%) 2023年3月期第3四半期 △1,157百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第3四半期	円 銭 68.37	円 銭 68.28
2023年3月期第3四半期	90.46	90.43

(注) 当社は、2023年6月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第3四半期	百万円 27,298	百万円 23,852	% 86.5
2023年3月期	32,318	26,647	81.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 23,614百万円 2023年3月期 26,402百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 20.00	円 銭 —	円 銭 23.00	円 銭 43.00
2024年3月期	—	24.00	—		
2024年3月期(予想)				24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2023年6月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期における1株当たり配当金につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,150	0.1	5,000	△14.1	5,000	△14.5	2,650	△36.0	67.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	40,412,690株	2023年3月期	40,412,690株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,225,828株	2023年3月期	1,335,798株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	39,135,570株	2023年3月期3Q	39,702,885株

(注) 当社は、2023年6月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

2024年2月8日に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明動画を配信する予定です。動画中で使用する資料等については、当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染症法上の位置づけが5類に移行したことにより、経済活動の制限が緩和されるなど回復の兆しをみせた一方、不安定な国際情勢の中、原材料価格やエネルギー価格が高騰し物価が上昇するなど、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループは、パーパス「意志の力を最大化し、社会の善進を加速する。」に基づき、教育事業、人材マッチング事業、及び投資事業を、今後の成長をけん引するコア事業として設定しております。そして、コア事業間での連携を強化し、シナジーを創出することで、独自性のある強みを築き、企業価値の最大化を目指してまいります。

具体的なコア事業間の取り組みとして、教育事業でデジタル人材を育成し、人材マッチング事業において、育成したデジタル人材と投資事業における投資先スタートアップのマッチングを行うことで、投資先のバリューアップを図ってまいりました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、投資先株式の売却を行ったこと等により、売上高は10,786,933千円(前年同期比6.0%増)、営業利益は4,963,369千円(前年同期比0.6%増)、経常利益は4,972,853千円(前年同期比0.5%増)となった一方、のれんの減損損失を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,675,534千円(前年同期比25.5%減)となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、コア事業を明確化するため、報告セグメントを従来の「DXプラットフォーム事業」、「インベストメント事業」、「アドテクノロジー事業」、「コンテンツ事業」から「投資事業」、「教育事業」、「人材マッチング事業」、「アドテク・コンテンツ事業」の4区分に変更しております。以下の前年同四半期比較については、変更後の区分方法により作成しております。

① 投資事業

投資事業は、シード/アーリーステージを中心としたスタートアップ企業への投資を行っております。

当第3四半期連結累計期間は、有価証券売却益の計上が前期を上回った影響により、売上高は6,425,145千円(前年同期比14.1%増)、セグメント利益は5,875,927千円(前年同期比9.7%増)となりました。

② 教育事業

教育事業は、オンラインプログラミング教育事業を運営するキラメックス㈱により構成されています。

当第3四半期連結累計期間は、生成AI学習コースの受講者獲得を目的に特別価格での提供を行ったこと、及び広告投資や体制強化のための費用が増加した影響により、売上高は912,877千円(前年同期比2.3%減)、セグメント損失は108,715千円(前年同期はセグメント損失2,817千円)となりました。

③ 人材マッチング事業

人材マッチング事業は、副業・転職マッチングプラットフォームを運営するカソーク㈱、採用支援事業等を運営するイノープ㈱、デザイナー特化型クラウドソーシングサービスを運営する㈱リベイス及びフリーランス人事マッチング事業を運営するONX㈱により構成されています。

当第3四半期連結累計期間は、前期及び当期に実施した4件のM&Aの影響により、売上高は370,822千円(前年同期比8.2%増)となりましたが、中核事業であるカソーク㈱の体制強化に伴うコストの増加により、セグメント損失は358,215千円(前年同期はセグメント損失214,990千円)となりました。

④ アドテク・コンテンツ事業

アドテク・コンテンツ事業は、ウェブ広告領域における広告プロダクトの運営や、スマートフォン向けアプリやウェブサイトを通した様々なサービスを提供しており、ユニテッドマーケティングテクノロジーズ㈱、フォッグ㈱、㈱インターナショナルスポーツマーケティング、及び㈱プレューアスにより構成されています。

当第3四半期連結累計期間は、アドテクノロジー事業において、前期上期に広告予算が集中した反動により、売上高は3,090,988千円(前年同期比5.7%減)、セグメント利益は263,878千円(前年同期比38.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ5,019,518千円減少し、27,298,835千円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・現金及び預金は、投資先株式の売却等により、前連結会計年度末に比べ236,418千円増加しております。
- ・営業投資有価証券は、投資先株式の売却及び時価評価により、前連結会計年度末に比べ3,449,972千円減少しております。
- ・のれんは、ONX㈱の株式取得及び減損損失の計上等により、前連結会計年度末に比べ650,891千円減少しております。
- ・デリバティブ債権は、投資先株式の時価評価及び期間満了によるデリバティブ契約の一部終了により、前連結会計年度末に比べ流動資産は8,748千円減少し、投資その他の資産は2,088,959千円減少しております。
- ・投資その他の資産は、投資有価証券の取得があった一方、上記デリバティブ債権の減少があったため、1,180,754千円減少しております。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,225,057千円減少し、3,446,248千円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・未払法人税等は、投資先株式の売却等による課税所得の発生額が前期比で減少したため、前連結会計年度末に比べ511,388千円減少しております。
- ・繰延税金負債は、投資先株式の時価評価及び期間満了によるデリバティブ契約の一部終了により、前連結会計年度末に比べ1,726,810千円減少しております。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,794,461千円減少し、23,852,587千円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・利益剰余金は、主に次の要因により、前連結会計年度末に比べ1,286,000千円増加しております。
 - ・親会社株主に帰属する四半期純利益2,675,534千円の計上
 - ・剰余金の配当による1,389,534千円減少
- ・その他有価証券評価差額金は、投資先株式の時価評価及び期間満了によるデリバティブ契約の一部終了により、前連結会計年度末に比べ2,773,512千円減少しております。
- ・繰延ヘッジ損益は、投資先株式の時価評価及び期間満了によるデリバティブ契約の一部終了により、前連結会計年度末に比べ1,455,390千円減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期連結業績予想は、2024年3月期第2四半期決算短信で公表した数値から変更ありません。詳細は2023年11月9日に発表しました「特別損失の計上及び2024年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2024年3月期通期連結業績予想 (2023年4月～2024年3月)

売上高	13,150百万円 (前連結会計年度比 0.1%増)
営業利益	5,000百万円 (前連結会計年度比 14.1%減)
経常利益	5,000百万円 (前連結会計年度比 14.5%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	2,650百万円 (前連結会計年度比 36.0%減)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,370,743	13,607,161
売掛金	1,061,233	953,621
営業投資有価証券	11,236,595	7,786,622
棚卸資産	30,397	34,497
デリバティブ債権	1,942,923	1,934,174
その他	271,640	457,245
貸倒引当金	△21,662	△30,000
流動資産合計	27,891,871	24,743,323
固定資産		
有形固定資産	310,977	287,735
無形固定資産		
のれん	905,899	255,007
その他	299,394	283,313
無形固定資産合計	1,205,294	538,320
投資その他の資産		
デリバティブ債権	2,088,959	-
その他	821,251	1,729,456
投資その他の資産合計	2,910,211	1,729,456
固定資産合計	4,426,483	2,555,512
資産合計	32,318,354	27,298,835
負債の部		
流動負債		
買掛金	739,442	754,558
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	47,720	14,770
未払法人税等	1,201,741	690,352
その他	688,759	721,245
流動負債合計	2,777,664	2,280,926
固定負債		
長期借入金	54,900	53,390
繰延税金負債	2,838,741	1,111,931
固定負債合計	2,893,641	1,165,321
負債合計	5,671,305	3,446,248

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,923,019	2,923,019
資本剰余金	379,270	445,537
利益剰余金	17,437,075	18,723,075
自己株式	△1,068,576	△980,069
株主資本合計	19,670,789	21,111,562
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,934,443	1,160,930
繰延ヘッジ損益	2,797,321	1,341,930
その他の包括利益累計額合計	6,731,764	2,502,861
新株予約権	222,743	218,083
非支配株主持分	21,751	20,080
純資産合計	26,647,048	23,852,587
負債純資産合計	32,318,354	27,298,835

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	10,175,064	10,786,933
売上原価	3,144,859	3,357,153
売上総利益	7,030,205	7,429,780
販売費及び一般管理費	2,096,911	2,466,411
営業利益	4,933,293	4,963,369
営業外収益		
受取利息及び配当金	63	4,432
持分法による投資利益	19,689	-
為替差益	-	3,078
未払配当金除斥益	3,252	1,072
暗号資産評価益	-	4,451
事務所移転費用戻入益	-	6,279
受取解決金	-	2,408
その他	7,531	4,558
営業外収益合計	30,537	26,282
営業外費用		
支払利息	1,554	1,422
持分法による投資損失	-	3,442
為替差損	203	-
支払手数料	1,589	-
控除対象外消費税等	-	3,924
支払奨励金	-	6,754
暗号資産評価損	6,932	-
譲渡制限付株式関連費用	3,646	-
その他	1,065	1,254
営業外費用合計	14,992	16,798
経常利益	4,948,838	4,972,853
特別利益		
新株予約権戻入益	9,522	-
権利譲渡収入	350,000	-
投資有価証券売却益	-	23,347
特別利益合計	359,522	23,347
特別損失		
固定資産除却損	2,674	-
減損損失	-	610,082
事務所移転費用	1,320	-
段階取得に係る差損	-	580
特別損失合計	3,994	610,663
税金等調整前四半期純利益	5,304,366	4,385,538
法人税、住民税及び事業税	1,711,897	1,697,140
法人税等調整額	798	17,900
法人税等合計	1,712,695	1,715,041
四半期純利益	3,591,671	2,670,496
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△5,037
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,591,671	2,675,534

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	3,591,671	2,670,496
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,104,093	△2,773,512
繰延ヘッジ損益	△645,126	△1,455,390
その他の包括利益合計	△4,749,220	△4,228,903
四半期包括利益	△1,157,549	△1,558,406
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,157,549	△1,563,444
非支配株主に係る四半期包括利益	-	5,037

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	投資事業	教育事業	人材マッチン グ事業	アドテク・コ ンテンツ事業			
売上高							
顧客との契約 から生じる収益	—	928,884	337,936	3,277,851	4,544,673	—	4,544,673
その他の収益	5,630,391	—	—	—	5,630,391	—	5,630,391
外部顧客への 売上高	5,630,391	928,884	337,936	3,277,851	10,175,064	—	10,175,064
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	5,079	4,673	1,120	10,873	△10,873	—
計	5,630,391	933,964	342,610	3,278,971	10,185,938	△10,873	10,175,064
セグメント利益又は 損失(△)	5,358,738	△2,817	△214,990	430,357	5,571,289	△637,995	4,933,293

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△637,995千円は、全額各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは、本社の管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	投資事業	教育事業	人材マッチン グ事業	アドテク・コ ンテンツ事業			
売上高							
顧客との契約 から生じる収益	—	902,015	368,784	3,090,988	4,361,788	—	4,361,788
その他の収益	6,425,145	—	—	—	6,425,145	—	6,425,145
外部顧客への 売上高	6,425,145	902,015	368,784	3,090,988	10,786,933	—	10,786,933
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	10,861	2,038	—	12,900	△12,900	—
計	6,425,145	912,877	370,822	3,090,988	10,799,834	△12,900	10,786,933
セグメント利益又は 損失(△)	5,875,927	△108,715	△358,215	263,878	5,672,874	△709,505	4,963,369

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△709,505千円は、全額各報告セグメントに配分していない全社費用であり、その主なものは、本社の管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、コア事業を明確化するため、報告セグメントを従来の「DXプラットフォーム事業」、「インベストメント事業」、「アドテクノロジー事業」、「コンテンツ事業」から「投資事業」、「教育事業」、「人材マッチング事業」、「アドテク・コンテンツ事業」の4区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第2四半期連結会計期間において、「人材マッチング事業」におけるのれんの一部を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において570,313千円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。